

## 三菱アーティキュレートダンパ M26

アーティキュレートダンパは、狭い地、不整地における機動性の良さで国内でもトンネル工事向けに導入普及している。

当社相模原製作所ではトンネル坑道内での走行用として、排気ガス規制をクリアしたトンネル専用車を開発したので概要を紹介する。

### 1. 仕様

外観を図1に、主要寸法を図2に、黒煙除去装置を図3に、主要諸元を表1に示す。

### 2. 特徴

#### (1) 黒煙除去装置の装着

- エンジンの排気ガスを浄化する、当社独自開発の自動燃焼システムを備えた黒煙除去装置を標準装着している。この装置は、セラミックフィルタにて排気ガス中の粒子状物質を捕そくし、浄化された排気ガスを排出するが、フィルタ内部に一定量の粒子状物質が蓄積されると、自動的に燃焼させフィルタを再生する装置となっている。

#### (2) 排気ガス認定エンジンの搭載

- 建設省指定トンネル工事用排出ガス対策型認定エンジン三菱6D24T-E1型を搭載し対応している。

#### (3) 小さな旋回半径の確保

- 第3軸アクスルを持上げ、トランスマチック機構を採用し、小さな旋回半径を確保し狭いトンネル内での方向転換を容易にした。

(最小旋回半径：6.0 m、トランスマチック未使用時：7.0 m)

#### (4) 優れた走破性

- トラクタ部とトレーラ部を連結するセンタピンにより、車体の前後が振動できるオシレーション機構と、トレーラ部のAフレーム式ハイドロフレックスサスペンションにより、不整地でも常に全輪が接地し、大きな引張力が得られる。

#### (5) 高い安全性

- サービスブレーキは、前後独立2系統の乾式ディスクブレーキの採用により耐久性、安全性が高い。
- 排気ブレーキは、坂道降坂時の連続制動に威力を発揮し、サービスブレーキ多用によるブレーキパッドの摩耗を防ぐ。
- エマージェンシーステアリングシステムを標準装着しているので、エンジン停止時にもステアリング操作ができる。
- 後方の安全確保のため、バックアイテレビも装備されており、運転席内にて後方の安全を確認できる。

(相製 車両・機器技術部車両・機器設計課 大谷)  
☎ (0427) 61-1981

本社営業窓口 汎用機事業本部建設機械部一般建機課

☎ (03) 3212-9690



図1 外観

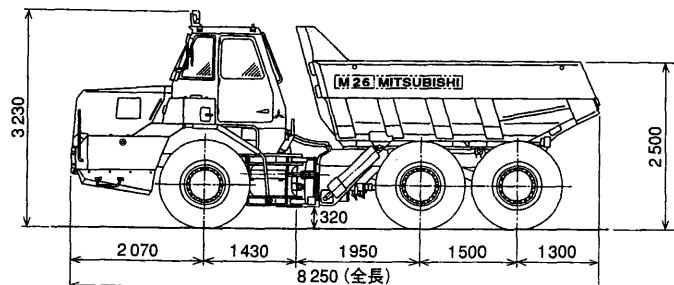


図2 主要寸法

重量 車両重量	最大積載量 (kgf)	20 000 (kgf)	駆動形式		6 × 4
			エンジン	名 称 総排気量 (l) 定格主力 (PS/rpm)	
全長	(mm)	8 250		三菱 6D24T-E1 11 945	
全幅	(mm)	2 495		260/2 200	
全高	(mm)	3 230			
全軸距	(mm)	4 130			
輪距	(mm)	2 000			
最低地上高	(mm)	320			
重量			トランシット ミッション	名 称 形 式 変速段数	6 WG 200 型 電子制御式全自動変速 F 6, R 3
山積容量	(m³)	13			
平積容量	(m³)	10.5	アス	リダクション クル ファイナルドライブ	ハイボイドギヤ フルフルート遊星歯車式
積込み高さ	(mm)	2 500			
最大ダンプ角度	(度)	60			
走行性能	最高速度 (km/h)	44		タイヤサイズ	17.5 R 25 (チューブレス)
	(空車時)		ブレーキ	サービスブレーキ	前後独立2系統, 全輪乾式ディスク
	最小旋回半径 (mm)	6 000		駐車ブレーキ	推進軸制動ディスクブレーキ
	(トランスマチック使用, 車体最外側)				

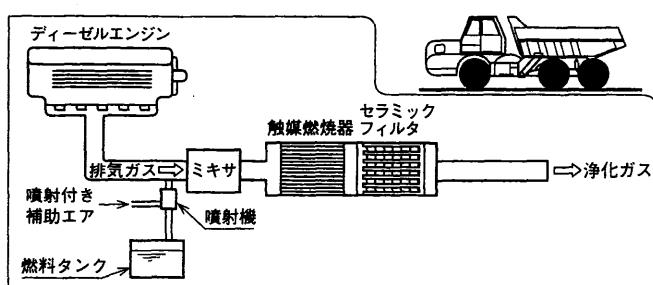


図3 黒煙除去装置